

# 2024年度(令和6年度) 自己評価・学校関係者評価報告書

日本バプテスト春日原キリスト教会附属 恵星幼稚園

【自己評価】 ◇自己評価検討会議日：2025年2月28日(金)

## I. 本園の教育目標(目指す子ども像)

・ 神さまと人に愛される子ども ・ いきいきと生活する子ども ・ 仲間と育ちあう子ども

## II. 今年度重点的に取り組む目標・計画

- 発達と生活の連続性を大切にし、1年を、子どもの実際の姿に照らしたゆるやかな区分で保育する。
- カリキュラムは学年別で期ごとに出すが、将来的に発達の区分に合わせて作成できるように考えていく。
- 教育要領に照らしつつ、あそびを中心とした教育活動が子どもの学びとなっているかに着目して、保育の振り返りをする。

## III. 評価項目の達成及び取り組み状況 (評価 A:よくできている, B:だいたいできている, C:あまりできていない, D:できていない)

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの主体的な遊びの尊重・保育内容の充実	A	<ul style="list-style-type: none"><li>・目の前にいる子どもたちが今、どのような遊びを求めているのかを見極め、やってみたい気持ちを尊重し、教材研究をしたり、その遊びがより発展したりするような環境を設定して保育を行った。</li><li>・子どもたちがしたい遊びをするにあたって、過干渉にならない必要な支援を常に考え実践した。</li><li>・さくらんぼリズムを通して身体の発達を丁寧に促せたが、酷暑が長く続き園外保育より園児の安全を優先した。</li></ul>
2	保育者間の保育に対する共通理解と連携	B	<ul style="list-style-type: none"><li>・クラス担任と、横割り担当でその時期にふさわしい活動や教材を定期的に話し合い、取り入れていくようにした。</li><li>・子どもの各々の良いところや課題を共有・把握し、活動に応じて個々にふさわしい対応ができるよう配慮(課題に挑戦したくなるような表を作ってシールを貼る、視聴覚教材を用意する、触覚が過敏な子に対しては皆と同じものでなくてもその子が納得して喜んで使えるものを用意する等)した。しかし、その情報の共有・反省がクラス単位でとどまり、園全体で行うまでには至っていないこともあった。</li></ul>
3	教職員研修 地域との連携や安全管理	B	<ul style="list-style-type: none"><li>・常勤教諭は春日市・私立幼稚園連盟・キリスト教保育連盟が主催する研修に積極的に参加した。小学校との連携・重大事故防止・個別への配慮等、保育に活かせることをまとめた報告書を回覧したり、会議で伝達したりして、非常勤教諭とも共有できるよう努めている。</li><li>・内部研修・外部研修でわらべうたへの学びを深め、保育のなかで実践できた。更なる内部研修の充実を目指す。</li><li>・近隣との交流については、職員レベルでは行えた。園児レベルまで広げると、引き続き課題として残る。</li></ul>

#### IV. 総合的な評価結果

評価	理 由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの主体的な遊びを尊重した保育や環境設定、リズムによる身体の発達は子どもの様子に合わせて実践できたように感じている。</li> <li>・クラスや学年単位での情報を教師全員で共有することや担任同士での日誌の読み合い・クラス見学などの時間を作ることで、個人の学びとなり、更なる園全体の保育の質の向上につながると思うので計画、実施する。</li> <li>・アプリの導入により保護者との連絡をスムーズに行うことができ、緊急時も連絡がしやすくなった。</li> <li>・内部研修を充実させるために、学びたいテーマを職員間で話し合い講師を招いたり、教育理念や方針の共通理解をより深めたりするための具体的な取り組みを検討していくことが必要。</li> </ul> 以上の理由により園としての総合的な評価はBとする。

#### V. 今後取り組む課題

	課 題	具 体 的 な 取 り 組 み 方 法
1	キリスト教保育	・キリスト教保育指針が2024年度に改定されたことを受けて、職員での読み合わせの時間を作り、園全体に示されている保育指針・幼稚園教育要領を踏まえた上で、キリスト教保育の理念と信念をすり合わせながら記されていることを理解し実践する。
2	保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの課題のみを保護者に伝えるのではなく、これからどうしたら良いのかを、園と家庭で一緒に考えて共有したり、長い目で見ながら取り組んだりする。</li> <li>・子どものことを保護者に伝える時は、気持ちに寄り添いながら丁寧に伝えられるようにするために、教職員全員で学び直しをする。</li> </ul>
3	2歳児保育	・来年度より、2歳児保育を開始する。今年度中から、他園を見学し、情報交換を行いながら準備をすすめているが、一年をかけて環境を整えながら2歳児にふさわしい保育を実践していく。

-----

【学校関係者評価】 ◇学校関係者評価委員会開催日：2025年3月4日(火)

#### ◎学校関係者評価委員会の評価

評価	所 感
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの主体的な遊びが取り入れられ、子ども同士で自発的に遊びを展開するような取り組みがなされていた。</li> <li>・キリスト教保育を大切にしながらも、わらべうたや草履での生活など日本の文化の良さを子どもたちに伝えており、わらべうたやけん玉の達人など外部講師を通して子どもたちの意欲も高まった。</li> <li>・猛暑や感染症などでイベント減少を余儀なくされている中で、子どもたちの体験が減らないように工夫され、学年別(横割り)の取り組みもよく考えられていた。</li> <li>・クラスだよりや絵本ノートを通して子どもたちの様子が詳しく伝えられていた。</li> <li>・この幼稚園との出会いによって、子育ての方向性を見失うことなく感謝している保護者が複数存在している。</li> <li>・園の保育の向上に資する教職員の研修や講習受講が充実している。</li> <li>・「心の教育」を家庭や地域だけではなかなか伝わりにくい現代、その役割をよく担っており、「生きる力」をキリスト教保育の中で育てていることを高く評価する。</li> </ul>

(評価 A:よくできている、B:だいたいできている、C:あまりできていない、D:できていない)